

本年度もよろしく申し上げます。

～1学期始業式 校長講話より～

令和2年度のスタートに当たり、今年も、「こんな丸子中にしたい」という思いを込めて、一つの詩を贈ります。「一秒の言葉」という詩です。

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの言葉に、一生のときめきを感じることもある。
「ありがとう」
この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることもある。
「がんばって」
この一秒ほどの言葉に、勇気がよみがえってくることもある。
「おめでとう」
この一秒ほどの言葉に、幸せにあふれることもある。
「ごめんなさい」
この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることもある。
「さようなら」
この一秒ほどの言葉が、一生の別れになるときがある。
一秒に喜び、一秒に泣く。
一所懸命、一秒。

どうでしたか。この六つの一秒（ほど）の言葉、皆さん言ったことありますよね。どの言葉も、まわりの人に対して、いろいろな思いを込めて、言う言葉です。言われた方の気持ちもいろいろだと思います。

私が大切にしたいなと思うことに「思いやり」があります。思いやりは行動で示す「思いやり」もありますし、このような言葉で伝える「思いやり」もあると思います。

皆さんのまわりにいる友達や先生、家族や地域の方々に、行動やこのような言葉で、思いやりを示してみませんか。

小学校の時に、「ちくちく言葉」や「ふわふわ言葉」も勉強した人もいます。今日、お話しした、六つの「一秒の言葉」だけでなく、皆さんはどんな思いやりのある「一秒の言葉」や ふわふわ言葉を友達にかけてあげられるでしょうか。どんな思いやりのある行動ができるでしょうか。

みんなで思いやりのこもった「一秒の言葉」や行動を、気軽に、時には勇気

を出して伝え合ったり、してあげたりして、私たちみんなが、気持ち良く生活したり、学習したり、部活動をしたりできるような温かでステキな雰囲気丸子中学校にしていきましょう。そして、毎日登校したくなる丸子中学校にしていきましょう。